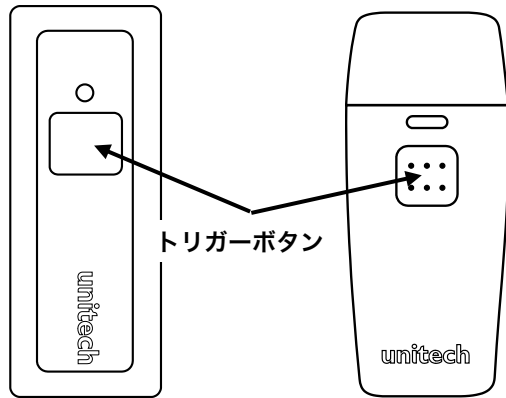


## 基本操作

## スキャナの電源をオンにする

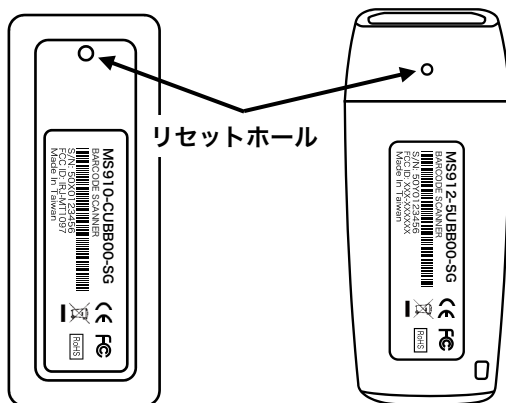
スキャナの電源がオフの状態、トリガーボタンを1秒以上長押ししてください。スキャナの電源がオンになったとき「ピーー」という音が鳴ります。



## スキャナの電源をオフにする (リセット)

スキャナの電源がオンの状態で、リセットホールに先の尖っていない細い棒 (クリップを伸ばしたものなど) を差込んで、内部のリセットスイッチを押してください。スキャナがリセットされると電源がオフになります。

※ 設定や通信情報は変更されません。



## ペアリング完了後の使用方法

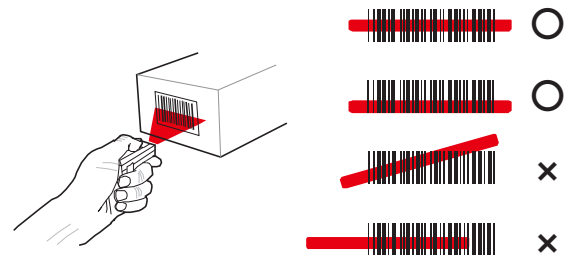
使用を開始するときは、トリガーボタンを1秒以上長押しして、スキャナの電源をオンにしてください。スキャナの電源がオンになったときに再接続が開始されますので、再接続が完了するまでお待ちください。

※ 再接続できない場合は、スキャナのリセットを行ってから、もう一度電源をオンにしてください。

## バーコードを読取る

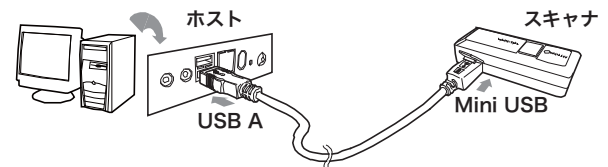
バーコード読取光 (赤いビーム) が、バーコードの全ての棒と空白を横切るようにしてください。読取りにくい場合は、トリガーボタンを押し続けたまま、バーコードとスキャナの距離を調整してください。

バーコードの読取りに最適な距離はバーコードの種類や縮小・拡大率、印刷の状態、印刷台紙の種類・色などによって様々です。また、バーコードの細いバーが細すぎるものや、バーコードの幅自体が広すぎるもの、印刷品質が悪くかすれているものなどは読取ることができません。



## スキャナを充電する

スキャナを2時間以上充電してください。バッテリーの残量が十分ないと接続が正常に行なわれない場合があります。



## スキャナの動作が不安定なとき

スキャナの動作が不安定なときは、スキャナをリセットしてください。

## 本書内の iOS デバイスについて

本書内で使用される iOS デバイスとは「iPhone」や「iPad」等に代表される Apple 社製モバイル機器の総称です。

## ウェブブラウザをご利用中の方

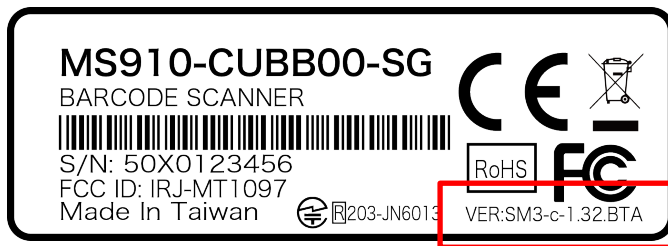
Safari、Chrome やブラウザベースのアプリ上のテキストボックスへバーコードデータを送信した場合、桁落ちが発生する場合があります。これは iOS デバイス側の処理が遅いために発生します。回避のため iOS デバイス上では文字間遅延の設定を「16 ミリ秒」に変更してください。

それでも発生してしまう場合は、アプリの変更をお勧めいたします。

※注意※

- 本書は、iPhone Xs (iOS 12.1.2) をベースに作成されています。
- 本スキャナは、全ての iOS デバイスとの接続および動作を保証するものではありません。
- iOS デバイスの質問や操作方法等については、Apple 社へお問い合わせください。
- 使用しているアプリについての質問や操作方法については、アプリの制作者へお問い合わせください。
- スキャナのバージョンによって一部操作が異なる場合があります。

赤で囲った部分にバージョン表記があります



## iOS デバイスと接続する

- 1 スキャナのトリガーボタンを 1 秒以上長押しして電源をオンにしてください。

※ 充電中の場合は USB ケーブルを外してください。

- 2 スキャナを使用して次のバーコードを上から順番に読取ってください。




設定初期化

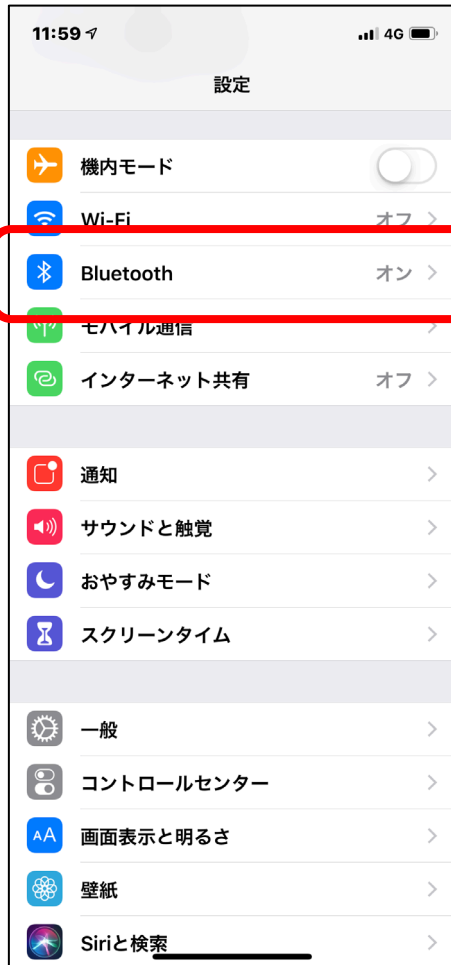



通信切断/ペアリング削除




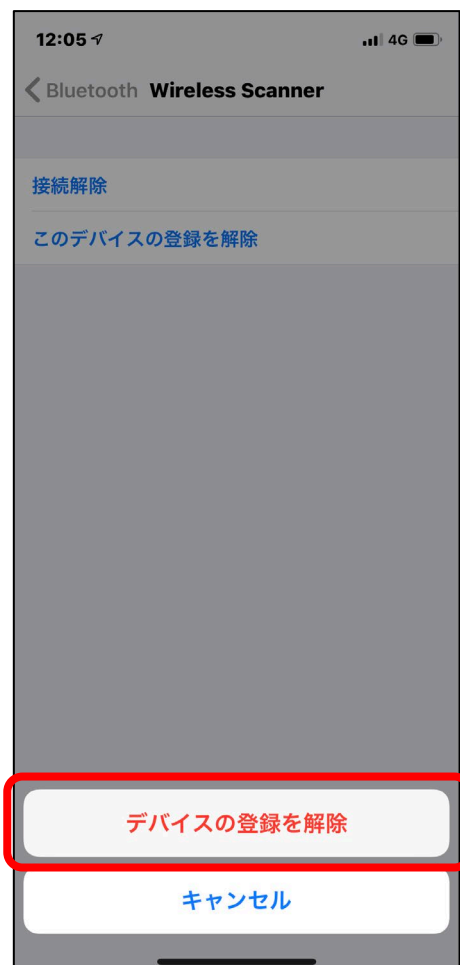
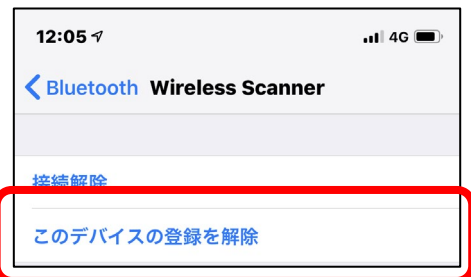
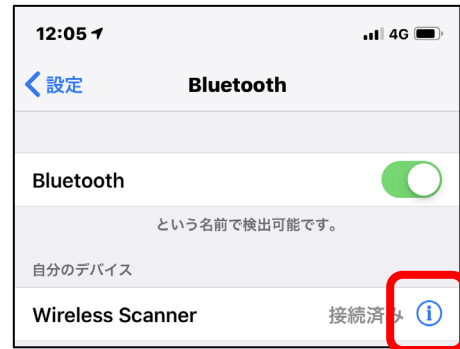
HID (ワイヤレス)

- 3 iOS デバイスのホーム画面の  設定 → Bluetooth → Bluetooth 右のスイッチをタッチして「オン」にしてください。



- 4 Wireless Scanner 右の「」 → 「このデバイスの登録を解除」 → 「デバイスの登録を解除」とタッチしてください。

※  が表示されていない場合や Wireless Scanner が表示されていない場合は、この手順をスキップして次へ進んでください。




5 スキャナの緑ランプが点滅していることを確認してください。緑ランプが消灯している場合は電源がオフになっている場合があります。

6 iOS デバイスの Bluetooth 画面に「Wireless Scanner」が表示されることを確認してください。

※ スキャナの電源がオンになったばかりの場合は検索に時間がかかる場合があります。

※ 1 分以上待っても検索されない場合は、「通信切断/ペアリング削除」バーコードを読み取ってから、スキャナをリセットして、もう一度電源をオンにしてください。

7 スキャナが接続待機（緑ランプ点滅）の状態、「Wireless Scanner」をタッチしてください。

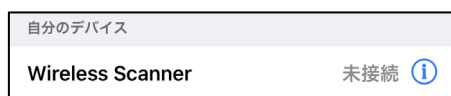
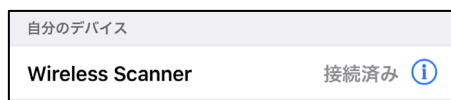
※ Wireless Scanner の右に  マークがないことを確認し、アイコンが表示されている場合は「登録を解除」してください。



8 暫くすると、スキャナが「ピッピッ」と鳴動し、緑ランプが消灯して接続が完了します。

※ 接続完了する前にスキャナの電源がオフになると接続が失敗しますのでご注意ください。

※ iOS デバイスの Bluetooth 画面のデバイスに表示されている Wireless Scanner に「接続済み」と表示されていることを確認してください。切断中は「未接続」と表示されます。



9 次のバーコードを読み取ってスキャナの文字間遅延を設定してください。

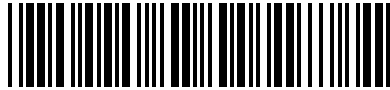


文字間遅延「16 ミリ秒」

## スキャナと画面キーボードを同時に使用する

1. スキャナを使用して「ダブルクリックキーボード有効」を読取ってください。

※ 設定後は、設定初期化を行うまで有効の状態が保存されますので、毎回再設定を行う必要はございません。



ダブルクリックキーボード有効

2. この機能が有効になっているときに、スキャナのボタンを素早く2回押すと、画面キーボードが表示されます。


※ 文字入力ができない場所では本機能は使用できません。テキストボックスなどにカーソルを合わせて、文字入力可能な状態で作業を行ってください。

## バーコードを読取ってみる

1.  メモを実行して新規作成してください。

2. 画面キーボードを表示してください。

3. 入力方法を「English (xxx)」に変更してください。

※ 入力方法の変更は、画面キーボードの  を長押しします。

※ 入力方法に「English (xxx)」が無い場合は、[設定]-[一般]-[キーボード]-[キーボード]から英語キーボードを追加してください。



4. 目的のバーコード、または巻末のテストバーコードを読取ってください。バーコードの最後に改行しない場合は、入力方法が「English (xxx)」以外になっている可能性があります。

## トラブルシューティング

それまで正常に接続して使用できていたのに、突然接続しなくなり緑 LED が点滅を繰り返す。

「iPhone/iPad の Bluetooth をオフ→スキャナの電源オフ→ iPhone/iPad の Bluetooth をオン→スキャナの電源オン」の順番に実行し、再接続が行われるかご確認ください。

数度上記手順を試行しても再接続が行われない場合は、本書を参考に再ペアリングを行ってください。

バーコードを読むと「ピピピ」とエラー音が鳴る。

正常に接続できていない場合のエラー音です。接続してからバーコードを読取ってください。

スキャナが接続できていないときは、スキャナの緑ランプが点滅を繰り返します。1分以上経っても緑ランプの点滅が消えない場合は、本書を参考に再ペアリングを行ってください。

バーコードを読むと「ピッ」と読取り成功音が鳴るにもかかわらず、iOS デバイスの画面に表示されない。

バーコードデータを入力するアプリが文字入力可能な状態になっているかをご確認ください。

アプリが文字入力可能な状態でもバーコードデータが表示されない場合は、「iPhone/iPad の Bluetooth をオフ→スキャナの電源オフ→ iPhone/iPad の Bluetooth をオン→スキャナの電源オン」の順番に実行し、復旧可能かご確認ください。

バーコードデータ後に自動改行しない。

バーコードデータがひらがなになったりする。

iOS デバイスの入力方法 (キーボード) を「English (xxx)」に変更してください。

バーコードデータが本来と全く異なる文字列になる。

iOS デバイスの推測変換など文字入力に関する補完機能を無効にしてください。

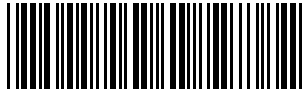
その他、ユーザーマニュアルの「よくある質問」をご確認ください。

## 設定変更用バーコード (抜粋)

全ての設定バーコードを確認するには、弊社 Web ページよりダウンロード可能なユーザーマニュアルの最新版をご利用ください。



設定初期化



バージョンチェック

### 【ターミネータ】

バーコードの最後に送信する機能キーです。



ENTER キー (標準値)



Tab キー

### 【強制電源 OFF】

このバーコードを読み取ると、スキャナの電源が即座に OFF となります。



電源 OFF

### 【読取成功ビープ】

バーコードの読取が成功したときのビープ音を変更できます。



鳴らす (標準値)



鳴らさない

### 【システムビープ】

エラー音や通信音を含むすべてのビープ音を変更できます。



全て鳴らす (標準値)



エラー音のみ鳴らす

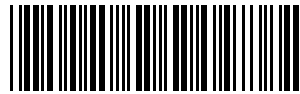


全て鳴らさない

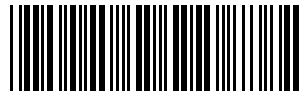
※ 通信接続・切断、エラー音、バッテリー残量警告など通常動作時のすべての音が鳴らなくなりますのでご注意ください。

### 【スキャンモード】

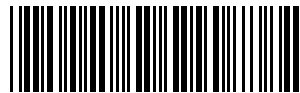
トリガーボタン押下時のバーコード読取光の照射方法を変更できます。各設定の詳細はユーザーマニュアルをご参照ください。



トリガー (標準値)



ワンプレスワンスキャン



連続

### 【先頭 0 の JAN コード】

0 (ゼロ) からはじまる JAN コードを読み取ったとき、0 (ゼロ) も含めて受信したい場合は「UPC を JAN に拡張する」を設定してください。



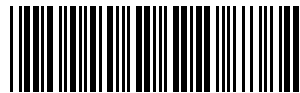
UPC を JAN に拡張しない (標準値)



UPC を JAN に拡張する

### 【Codabar(NW7)のスタートストップ文字】

Codabar のスタートストップ文字「A/B/C/D」の送信を変更できます。



送信する (標準値)



送信しない

## テスト用バーコード

Code 39



UNITECHE

Code 128



Unitech128

JAN13



4912345678904

Codabar (NW7)



A22357000599877A